

鷹巣誠一作 テーマ「迷い」① 「あれかこれか」

- 効果音 (教室のガヤ)
- 先生 いいか、来年度はみんなもいよいよ3年生だ。大学受験が控えているんだから、自分の将来についてよく考えておくだぞ。今はほとんどの者が大学へ行く時代だが、目的がないのなら必ずしも行く必要はないと思う。自分がどんな人生を歩んでいくのかを決めてゆくのはお前たちなんだから、今から、一体自分は何をやりたいのかという目的意識を持って生活してほしい。
- ナレーション ここはある私立の高校。この学園は、上に大学があって、推薦入学で生徒の80パーセントが進学できるため、いわゆる受験校的なムードは感じられない。そのためか、生徒はのんびりしていて、ある意味では自由を持っていると言える。しかしその反面、なんの目的意識も持たないで、大学まで行ってしまう生徒が多いのである。
- 村中 なあ、桑田、お前、卒業したらアメリカの大学へ行くんだって？
- 桑田 うん、まあな。向こうの学校へ行って、声楽の勉強をするんだ。おれは歌が好きなんだ。向こうへ行って、思い切り歌の勉強をしてくるんだ。今から楽しみだよ。
- 村中 いいなあ、桑田ははっきりとした目的があって。おれなんか、どうしようかって迷ってるもんなあ。
- 桑田 そんなことないよ。村中だって、きっとそのうちに目的が見つかるよ。でも、あせったらダメだと思うな。まだ時間はあるんだから、じっくりと自分を見つめてみるといいと思うな。おれも以前はずいぶんと迷ったもん。
- 音楽 (ブリッジ)
- 清水 よ、村中！ 何を浮かさない顔してるんだよ。コーヒーでも飲んでいかないか？ おごるよ。
- 有美 あ、清水君、わたしにもね。
- ゆかり あ、わたしもわたしも。
- 清水 えーい、面倒だ。全部面倒見ちゃうから早く行こうぜ。これ以上増えたらかなわんよ。
- 効果音 (喫茶店内)
- 清水 ところで村中よ。どうかしたのか？
- 村中 まあな。
- 清水 そんなに独りで悩んでないで話してみろよ。
- 有美 一人で悩んでも解決しないわよ。
- ゆかり そうよ、言っちゃいなさいよ。彼女のこと？
- 村中 そんなんじゃないけど…。実は大学どうしようかと迷ってるんだ。親からもなんだかんだ言われるし。みんなはどうなの？
- ゆかり なんだあ、そんなことなの。わたしなんて、そんなのいちいち悩んでたら、頭が幾つあっても足らないわよ。
- 有美 バカねえ。あたしたちは女の子だから違うのよ。男の子は、将来働いて奥さん子供を食べさせなきゃなんないんだから。
- 清水 そうだよなあ。これは一つの大きな問題だよな。でもさあ、おれには今、生きる目的と言うものがあって、将来のことを考えているんだけど、こんなこと言っても分かってもらえないかも

しれないけど、おれは、神様のために自分は何をしたらいいかって考えてるんだ。

有美

へえ、清水君ってクリスチャンなの？

清水

まあ、まだまだだけどね。ところで村中はどんなことをやってみたいと思ってるんだい？

村中

まあ、おれは物理が好きだし、工学部へでも行こうかなって思ってたんだけど、あまりはっきりした目的意識がないんだよな。だから自分がなんのために工学部へ行くかっていうのも分からなくてさ。そのうちに、あれもやりたい、これもやりたいと思うようになって。

清水

そうだよな。人間ていうのは多くの可能性があるんだ。だからおれたちはそれを選ばなくちゃならない。でも、自分に合ったものなんて、そんな簡単に見つかるもんじゃない。でも、それを血まなこになって探すのが、人間だと思うよ。おれも偉そうなことは言えないけどね。

村中(モノローグ)(エコー)多くの可能性がある人生か…。おれはどうしたらいいんだろう？ 何を求めて、何を選んだらいいんだろう？ だれか教えてくれ！

<続>